

# JDL Webストレージサービス はじめにお読みください

---

ご利用環境について .....	2
利用できるコンピュータの条件.....	2
Internet Explorerの設定について .....	2
ログイン .....	4
JDL Webストレージにログインする.....	4
初期設定ウィザード .....	5
手順 1 「使用形態の選択」.....	5
手順 2 「アカウント作成」.....	6
手順 3 「グループフォルダの作成」.....	7
手順 4 「設定確認」.....	8
拡張機能(ActiveX)のインストール.....	9
拡張機能(ActiveX)インストールの必要性について.....	9
拡張機能(ActiveX)のインストール手順 .....	10
JDL Webストレージマネージャの利用 .....	11
(補足) 信頼済みサイトへの登録方法 .....	12

※ Microsoft®、Windows®、Windows® 10、Windows® 10 Pro/Home、Windows® 8.1、Windows® 7 Ultimate/Professional/Home Premium、Windows Vista® Business/Home Premium/Home Basic、Internet Explorer®、ActiveX® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
本文中、®マークは省略しています。

# ご利用環境について

JDL Web ストレージサービスを利用する際に必要な環境についてご説明します。

## 利用できるコンピュータの条件

インターネットに接続できる環境(ブロードバンド回線)と以下の動作環境が必要です。

### ■ OS(オペレーティングシステム)

Windows 10 (Pro/Home)

Windows 8.1 (Windows 8.1/Windows 8.1 Pro)

Windows 7 (Ultimate/Professional/Home Premium) SP1

Windows Vista (Business/Home Premium/Home Basic) SP2

### ■ ブラウザ

Internet Explorer 11 以上

※ Firefox Opera などのブラウザではご利用いただけません。

※Windows Vista は、Internet Explorer 9

## Internet Explorerの設定について

### ■ 利用開始時の設定

Internet Explorer の設定を既定から変更していない場合は、そのまま JDL Web ストレージの利用を開始していただけます。

「インターネットオプション」の「セキュリティ」や「プライバシー」「全般一言語」の設定を変更している場合は、JDL Web ストレージの利用を開始する前に、Internet Explorer の設定を以下のように行ってください。

#### 1 CookieやJavaスクリプト、ActiveXの利用を制限している場合

信頼済みサイトに <https://webstorage.jdl.co.jp> を登録し、信頼済みサイトのセキュリティを既定のレベルに設定してください。これにより、JDL Webストレージで、CookieやJavaスクリプト、ActiveXが利用できるようになります。設定方法は、巻末の[\(補足\)信頼済みサイトへの登録方法](#)を参照してください。

#### 2 言語の設定を変更して、日本語以外を最優先にしている場合

言語の設定で日本語以外を最優先にしている場合、プログラムが正常に動作しません。Internet Explorer のツールバーから「インターネットオプション」を選択し、「全般」タブ内の「言語」の設定で、日本語が最も優先順位が高くなるように設定して回避をお願いします。

### ■ 拡張機能(ActiveX)利用時の設定

拡張機能(ActiveX)のご利用にあたっては、拡張機能(ActiveX)をインストールする時に、画面の指示に従って信頼済みサイトに <https://webstorage.jdl.co.jp> を登録し、信頼済みサイトのセキュリティを既定のレベルに設定します。

# ログイン

JDL Web ストレージの利用を開始するには、最初にログインを行います。

## JDL Webストレージにログインする

### 1 ログイン画面を開きます

Internet Explorer のアドレスバーにURL (<https://webstorage.jdl.co.jp/>) を直接入力します。

また、JDLホームページ (<http://www.sonic.jdl.co.jp/>) で「JDL Webストレージサービス」をクリック→[ログイン]ボタンをクリックして開くこともできます。

### 2 ログインに必要な情報を入力して、ログインします

弊社から通知されたシステム管理者用のログイン情報(ご契約コード/管理者ログイン名/パスワード)をログイン画面の「ご契約コード」「ログイン名またはメールアドレス」「パスワード」欄にそれぞれ入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。

システム管理者としてログインされるので、ログイン後に初期設定を行います。→[P.5](#)へ

JDL Web ストレージマネージャ

ご契約コード  
TEST00013

ログイン名またはメールアドレス  
user-a

パスワード  
●●●●●●

ログイン

ログインに失敗した場合は、以下をご確認ください。

- ・ 大文字、小文字を区別して正しく入力しているか。
- ・ 不要なスペースなどを入力していないか。

# 初期設定ウィザード

システム管理者で初めてログインすると、初期設定ウィザード画面が表示されます。  
標準的な使用形態でのアカウントの作成と、複数の利用者でファイルを共有するためのグループフォルダの作成を行い、JDL Web ストレージの運用をスムーズに開始します。

## 手順 1 「使用形態の選択」

使用形態を選択する画面が表示されますので、「個人で使用する」か「グループで使用する」を選択します。

初期設定

JDL Webストレージの初期設定を行います。  
画面に表示される手順に従って設定を進めてください。

手順 1 「使用形態の選択」

JDL Webストレージサービスの使用形態を選択してください。

- 個人で使用する
- グループで使用する (※複数の個人アカウントが利用できる場合)

キャンセル 次へ

※ 初期設定ウィザードでアカウントを作成すると、次回ログイン時には初期設定ウィザードは表示されません。

### ■ 個人で使用する

JDL Web ストレージをご自身だけで使用する場合に選択します。  
「個人で使用する」を選択した場合、グループフォルダは作成しません。

### ■ グループで使用する

JDL Web ストレージを複数の利用者で使用する場合に選択します。  
ご自身と他の利用者のアカウントを作成するほか、ファイルを共有するためのグループフォルダも、この初期設定ウィザードで作成します。

使用形態を選択後、[次へ]ボタンをクリックして、「アカウント作成」画面に進みます。  
[キャンセル]ボタンをクリックすると、初期設定ウィザードは中断し、アカウントは作成されません。

※ 初期設定ウィザードを終了後は、Webストレージマネージャの「アカウント管理」機能でアカウントを作成できます。

## 手順 2 「アカウント作成」

JDL Web ストレージを利用するアカウントを作成します。

手順 1 で「個人で使用する」を選択した場合、任意のログイン名で通常使用するアカウントを登録してください。

初期設定

**手順 2 「アカウント作成」**  
利用者の情報（●は必須）を登録してログイン用のアカウント（ユーザー）を作成してください。

通常使用するアカウントを作成します。

お名前●	ログイン名●	パスワード●	メールアドレス
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

※お名前は個人フォルダの名称になります。

戻る 次へ

手順 1 で「グループで使用する」を選択した場合、グループフォルダを共有するアカウント、また共有されたグループフォルダを利用するアカウントが既に決まっている場合は合わせて登録してください。

初期設定

**手順 2 「アカウント作成」**  
利用者の情報（●は必須）を登録してログイン用のアカウント（ユーザー）を作成してください。

①グループフォルダを共有するアカウントを作成します。

お名前●	ログイン名●	パスワード●	メールアドレス
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

※お名前は個人フォルダの名称になります。

②共有されたグループフォルダを利用するアカウントを作成します。

	お名前●	ログイン名●	パスワード●	メールアドレス
1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
3	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
4	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
5	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
6	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
7	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
8	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
9	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
10	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

※②の未設定アカウントは「アカウント設定」から追加できます。

戻る 次へ

作成するアカウントには、以下の内容をそれぞれ設定してください。

#### ■ お名前(必須)

全角、半角を問わず20文字まで設定できます。他のアカウントのお名前とは重複できません。

#### ■ ログイン名(必須)

半角英数文字と、“-”(ハイフン)、“\_”(アンダーバー)のみ使用でき、4文字以上16文字以下で設定できません。

#### ■ パスワード(必須)

半角英数文字のみ使用でき、6文字以上16文字以下で設定できます。  
ログイン名と同じパスワードは設定できません。

#### ■ メールアドレス

メールアドレスを設定します。設定したメールアドレスは、ログイン名として利用できます。  
アカウントごとに重複しないメールアドレスを設定してください。  
設定できるメールアドレスがない場合は、空欄のまま設定を進めても構いません。

※ 初期設定ウィザードで作成したアカウント情報は、あとからWebストレージマネージャの「アカウント管理」機能で変更できます。  
ご自身のアカウント情報は、「ログイン情報」で変更できます。

## 手順3 「グループフォルダの作成」

手順1で「グループで使用する」を選択した場合は、グループフォルダを作成します。作成するグループフォルダは、手順2で登録したアカウントからアクセス可能となります。

初期設定

手順3 「グループフォルダの作成」  
フォルダ名を入力して、グループフォルダを作成してください。

①共有するグループフォルダを作成します。

グループフォルダ名称	許可するアカウント
<input type="text" value="共有フォルダ"/>	<input type="text" value="フォルダ管理者、ユーザー1、ユーザー2"/>

戻る 次へ

「グループフォルダ名称」(必須)を入力し、[次へ]ボタンをクリックして「設定確認」画面に進みます。

※ グループフォルダ名称は、全角で127文字、半角で255文字まで設定できます。¥/:\*? "<>の記号を含んだ名称や末尾が.(ドット)の名称は設定できません。

※ グループフォルダは、あとからWebストレージマネージャの「グループ設定」機能で追加や変更ができます。

## 手順 4 「設定確認」

「設定確認」画面で、作成するアカウントとグループフォルダの内容を確認します。

初期設定	
<b>手順 4 「設定確認」</b>	
この内容で初期設定を行います、よろしければ <b>[完了]</b> を押してください。(ログアウトします)	
◆確認と利用者へのお知らせのため [印刷] することをお勧めします	
◆ログアウトの後、作成した フォルダ管理者 (ログイン名: <b>フォルダ管理者</b> ) アカウント でご利用ください	
ご契約コード	: <b>0000000000</b>
お名前	: <b>フォルダ管理者</b>
ログイン名	: <b>フォルダ管理者</b>
パスワード	: <b>*****</b>
メールアドレス	: 登録されていません
アカウント権限	: グループ管理
ご契約コード	: <b>0000000000</b>
お名前	: <b>フォルダ管理者</b>
ログイン名	: <b>フォルダ管理者</b>
パスワード	: <b>*****</b>
メールアドレス	: 登録されていません
アカウント権限	: 個人/グループ
ご契約コード	: <b>0000000000</b>
お名前	: <b>フォルダ管理者</b>
ログイン名	: <b>フォルダ管理者</b>
パスワード	: <b>*****</b>
メールアドレス	: 登録されていません
アカウント権限	: 個人/グループ
グループフォルダ名称	: 共有フォルダ
許可するアカウント	: フォルダ管理者、ユーザー 1、ユーザー 2

[印刷] ボタンをクリックすると、作成する内容を印刷できます。作成の記録、利用者への通知にご利用ください。  
[完了] ボタンをクリックすると、設定したアカウントとグループフォルダが作成され、初期設定ウィザードが終了しログアウトした状態になります。

作成したアカウントでログインできることを確認してください。操作している端末がはじめてWebストレージマネージャに接続する場合、拡張機能(ActiveX)のインストール画面が表示されます。 [→P.9](#)へ

- ※ [完了] ボタンをクリックしないと、実際のアカウントは作成されません。
- ※ 作成したアカウントやグループフォルダの情報は、あとから Web ストレージマネージャで変更できます。



# 拡張機能(ActiveX)のインストール

操作している端末がはじめて Web ストレージマネージャに接続する場合、ログイン後に拡張機能 (ActiveX) のインストール画面が表示されますので、手順に従ってインストールします。

## 拡張機能(ActiveX)インストールの必要性について

拡張機能(ActiveX)をインストールしなくても1ファイル単位のアップロード/ダウンロードが可能です。拡張機能(ActiveX)をインストールすることにより、以下のように機能が拡張されます。

	拡張機能(ActiveX)なし	拡張機能(ActiveX)あり
1ファイル単位のアップロード/ダウンロード	○	○
フォルダを含む複数ファイル単位のアップロード/ダウンロード	×	○
バックアップ	×	○

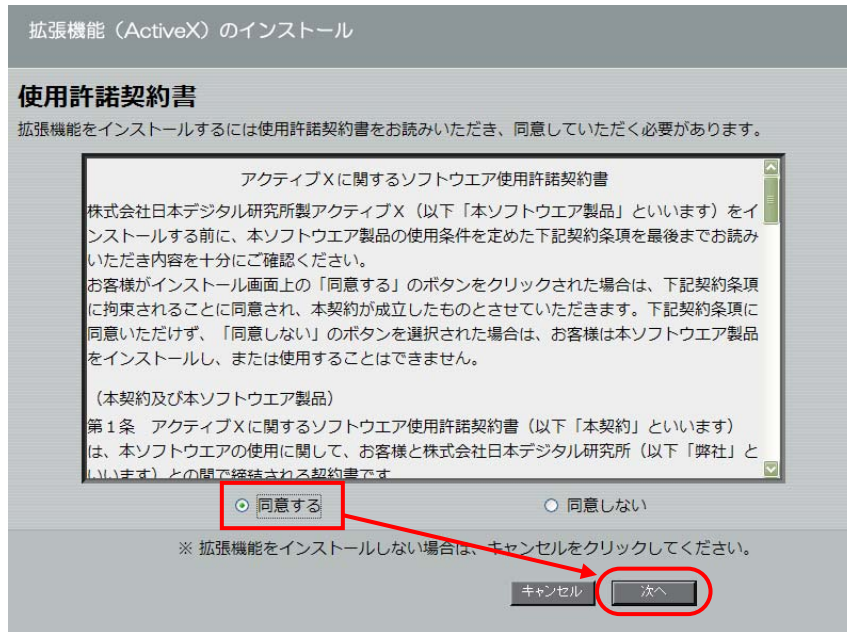
※ 拡張機能(ActiveX)をインストールしないと、バックアップ機能はご利用いただけません。

# 拡張機能(ActiveX)のインストール手順

## 1 使用許諾契約書の確認

最初に表示される使用許諾契約書をお読みいただき、「同意する」にチェックをつけ、[次へ]ボタンをクリックしてください。

拡張機能(ActiveX)をインストールしないで JDL Web ストレージを利用する場合は、[キャンセル]ボタンをクリックします。



※ インストールを[キャンセル]して拡張機能(ActiveX)を利用していないあいだは、ログイン時にこの画面が表示されますので、あとからインストールすることもできます

## 2 拡張機能(ActiveX)のインストール

使用許諾契約書に同意後、表示される画面の手順に従って、拡張機能(ActiveX)をインストールします。インストール終了後は、設定を有効にするため、現在表示している Internet Explorer を含め、すべての Internet Explorer をいったん終了させてください。

※ 拡張機能(ActiveX)をインストールするには、Windows の管理者権限が必要です。

※ 他のコンピュータや事務員(社員)のコンピュータで拡張機能を利用する場合も、ログイン後に同様な手順でインストールします。

# JDL Webストレージマネージャの利用

初期設定ウィザードと拡張機能(ActiveX)のインストールが終わると、JDL Web ストレージマネージャ画面が表示されます(拡張機能(ActiveX)をインストールした場合は、再度ログインします)。

## ■ JDL Web ストレージマネージャの操作

JDL Web ストレージマネージャ の操作については、画面右上の[ヘルプ]ボタンをクリックするとご確認いただけます。

ヘルプ

ファイル名▲	サイズ (KB)	更新日時	コメント
写真データ		08/04/24 14:49	
文書ファイル (保存用)		08/04/24 10:00	
ロードマップ.ppt	28	08/04/24 16:04	
営業所一覧.xls	87	08/04/24 16:05	
価格表.pdf	19	08/04/24 16:05	
見積もりフォーム.xls	32	08/04/24 16:05	
製品カタログ.pdf	182	08/04/24 16:04	
保存用アーカイブ (200804...)	899	08/04/24 16:05	
稟議書.doc	169	08/04/24 16:04	

お知らせ 現在、メンテナンス等の予定はございません。

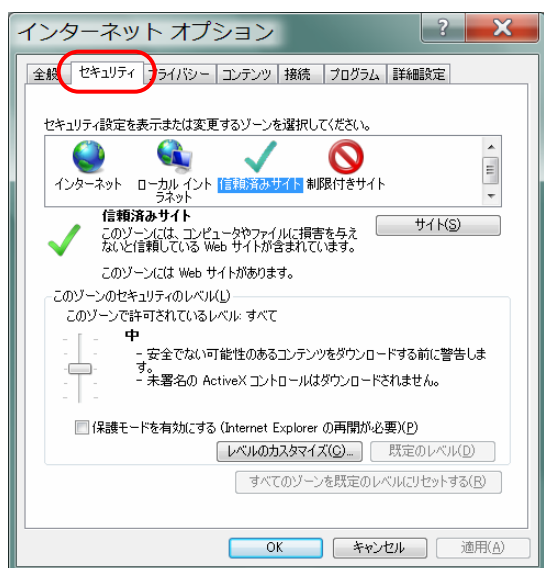
ストレージ  
使用量

- 個人 613MB使用
- 全体 1.2GB使用 (1.8GB空き)

## (補足) 信頼済みサイトへの登録方法

Internet Explorer の「インターネットオプション」で、「セキュリティ」や「プライバシー」の設定を変更して、CookieやJavaスクリプト、ActiveXの利用を制限している場合は、手順に従って、<https://webstorage.jdl.co.jp> を信頼済みサイトに登録します。

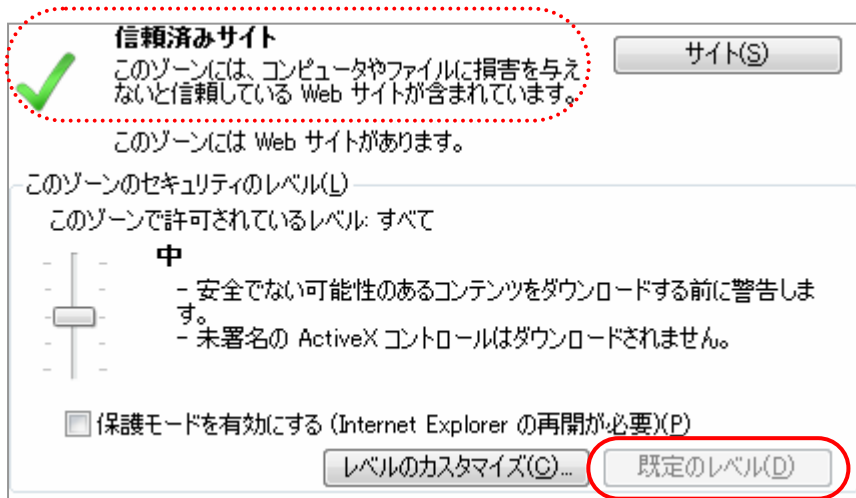
1 Internet Explorer のツールバーから、「インターネットオプション」→「セキュリティタブ」をクリックします。



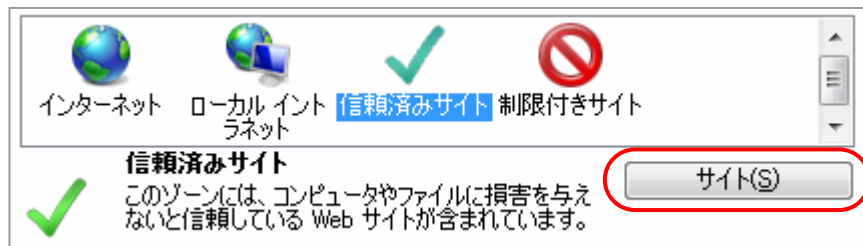
2 [信頼済みサイト]をクリックします。



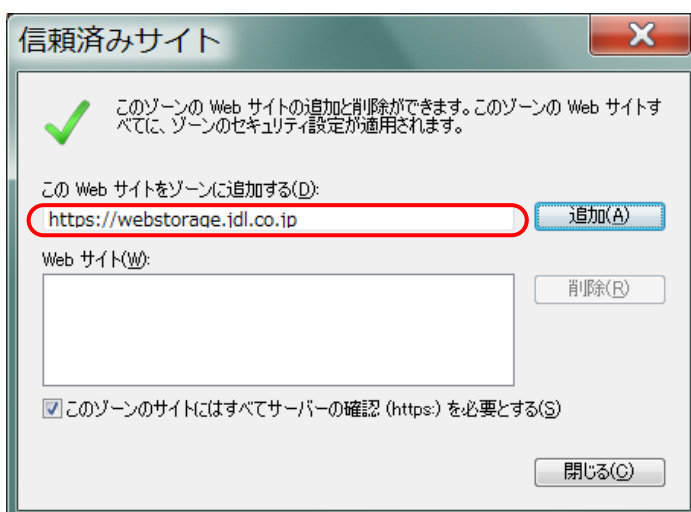
- 3 信頼済みサイトのセキュリティレベルが既定のレベルになっていることを確認します。  
 [既定のレベル]ボタンがアクティブになっている場合は、クリックして既定のレベルにします。



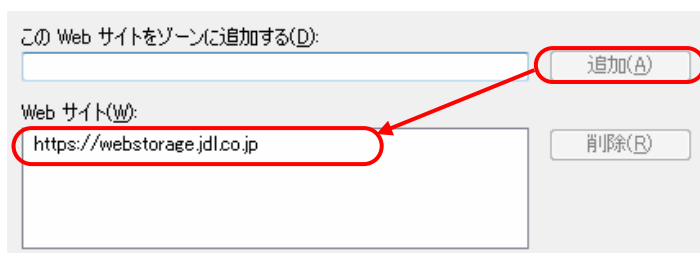
- 4 [サイト]をクリックします。



- 5 <https://webstorage.jdl.co.jp> を入力します。



## 6 [追加]をクリックします。



この Web サイトをゾーンに追加する(D):

Web サイト(W):  
https://webstorage.jdl.co.jp

追加(A)

削除(R)

Webサイトに `https://webstorage.jdl.co.jp` が追加されたことを確認して [ 閉じる ] をクリックします。

## 7 すべての Internet Explorer を終了させます。

設定を有効にするため、現在表示している Internet Explorer を含め、すべての Internet Explorer を終了させてください。